

## 2. 大工町地区

### ■ 区間

上河原通り町交差点～宮島町交差点

### ■ 主な組織

大工町大通り商店街連盟、東連合会  
自治会、上河原町自治会、大工町自治会、大町自治会、宮島町自治会



### 景観特性

- オフィスビルが整然と建ち並び、風格を感じる業務地景観が展開します。
- JR 宇都宮駅と東武宇都宮駅周辺とを結ぶ重要な継ぎ手の役割を担う空間です。
- 地区両端部の親しみのある商業景観が、大工町が隣接する商業地との景観の連続性を示します。



中高層の業務ビルが整然と並び風格のある景観



低層部ではにぎわいを演出



当該地区両端部の商業景観



新旧の建築物が混在する景観



地区内に見られるポケットパーク



大工町の歴史を示す、「大工町」の名称入りの提灯竿台

### 景観づくりのキーワード

#### 地区の主なご意見 ○：良い、△：改善

#### 大通り全体

- △ 歩道舗装デザインの不統一
- △ アーケードのデザイン不統一
- △ バス停デザインが古い
- バス停脇ベンチが憩いの場
- △ 街路樹の強剪定、樹種
- △ 中央分離帯の緑が淋しい
- △ 低層部の賑わい演出、景観の連続性確保
- △ 歩道上立て看板、自転車、落書き

大通り全体の  
景観づくりの目標

#### 大工町地区独自

- 創造的なデザインのビルとアンティークの落ち着いた低層店舗
- 祭りの際の提灯竿用土台石
- △ 横断しにくい区間の改善
- △ 広場状空間の活用
- △ 袖看板が多い
- △ 路肩側車線の駐車可能化

#### 景観現況調査結果

##### 【大工町地区の景観特性】

- ◆ オフィスビルが整然と建ち並び、風格を感じる業務地景観
- ◆ 地区両端部には、親しみのある商店景観
- ◆ JR駅と東武宇都宮駅周辺とを結ぶ重要な継ぎ手の役割を担う空間

風格を感じる景観を守るとともに、低層部のにぎわいを増し、人の東西の流れを促す

■ 将来目標像 ■

見通し景観に風格、歩行者に近い低層部ににぎわい、親しみを感じる街・大工町

風格を感じる景観を守るとともに、低層部のにぎわいを増し、来訪者の東西方向の流れを促す街並みを形成します。

■ 景観づくりの目標 ■

**1 見通し景観に風格を感じる景観を保全します。**

- ①中高層部の壁面の位置を整えます。
- ②中高層部の外壁は落ち着きのある色彩を採用します。
- ③良好な屋外広告物景観を形成します。

**2 低層部ににぎわい、親しみを感じる景観を形成します。**

（おもてなしの景観の形成）

- ①1階部はにぎわいの街並みを形成します。
- ②街路樹の連続性を確保します。
- ③広場状空間を創出し、活用します。
- ④地域活動に関する情報を積極的に発信します。
- ⑤統一フラッグを掲示します。
- ⑥歩行空間の緑化を充実します。
- ⑦店先等で緑を育みます。

■ 景観づくりの目標イメージ ■



- 1-① 中高層部の壁面の位置を整えます。
- 1-② 中高層部の外壁は落着きのある色彩を採用します。
- 1-③ 良好な屋外広告物景観を形成します。

- 2-② 街路樹の連続性を確保します。
- 2-④ 地域活動に関する情報を積極的に発信します。



- 2-⑤ 統一フラッグを掲示します。
- 2-⑦ 店先等で緑を育みます。

- 2-① 安全で歩きやすい歩行空間の創出します。歩道の高質化(舗装、緑化、照明、バス停等)を図ります。
- 2-⑥ 歩行空間の緑化を充実します。

: 宮の橋地区の景観づくりの目標関連
  : 大通り全体の景観づくりの目標関連

## 1 見通し景観に風格を感じる景観を保全します。

### 【景観づくりの考え方】

大工町地区における、大通り沿道に建ち並ぶ、中高層建築物の壁面の位置がそろい、落ち着いた色彩を基調とする風格を感じる景観を保全するとともに、一部に見られる屋外広告物の氾濫を抑え、良好な業務地景観を形成します。

### 【景観づくりの具体方策】

#### ① 中高層部の壁面の位置を整えます。

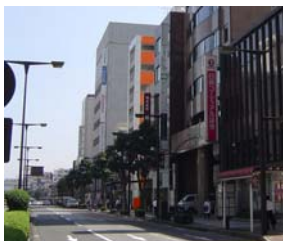
- ・道路に面する、基調となる壁面の位置は周辺の建築物の壁面の位置と調和するよう配慮します。

壁面が揃って中高層建築物が立ち並ぶ風格のある見通し景観



#### ② 中高層部の外壁は落ち着いた色彩とします。

- ・周辺景観と調和し、落ち着いた色彩とします。  
(彩度3以下)
- ・中高層部は圧迫感を軽減する色彩とします。



落ち着いた色彩景観

#### ③ 良好な屋外広告物景観を形成します。

- ・入居者を示す屋外広告物は可能な限り地上部に設置する集合案内板とします。
- ・中高層部に掲出する場合、地色を統一し(白色等)、文字の色にコーポレートカラーを用いるなど、周辺との調和を図ります。

袖看板は設置せず、地上部に集合化



現状



地の色を周辺色彩と調和

面積を最小限化(箱文字化)

## 2 低層部ににぎわい、親しみを感じる景観を形成します。

### 【景観づくりの考え方】

建築物の低層部に店舗などサービス施設を配置するとともに、店頭で花を育み、地域活動の情報発信により、親しみを感じ、にぎわいが連続する景観を形成します。

### 【景観づくりの具体方策】

#### ① 1階部のにぎわいの街並みを形成します。

- ・事業所においては、1階に飲食店を配置するなど、低層部におけるにぎわいの連続性に配慮します。
- ・1階部分はショーウィンドウ等により、内部の商業活動を見えやすくするなど、通りのにぎわいを増す景観を形成します。夜間は店舗の光が外を照らす明るい通りを形成します。

低層部にショールーム、カフェを配置し、にぎわいを創出している業務ビル



#### ② 街路樹の連続性を確保します。

- ・老朽化したアーケード等を撤去し、同じ形態のオーニングテントを設置するなど、うるおいとにぎわいのある商店街景観とします。
- ・オーニングテントの色彩は、基調となる色彩を定め、部分的に各店舗が自由にアクセント色を使用するなど、まとまりある色彩景観とします。
- ・アーケード撤去後は街路樹を植栽するなど、街路樹の連続性を確保します。



老朽アーケードを撤去し、庇機能をオーニングテントで代替するとともに、街路樹を植栽するイメージ

#### ③ 広場状空間を創出し、活用します。

- ・人々が憩える広場状空間を創出し、イベント時のサテライト会場としての活用やオープンカフェ等としての活用により、にぎわい景観を形成します。



既存の広場状空間の活用イメージ

#### ④地域活動に関する情報を積極的に発信します。

- ・事業所と地域の協力のもと、事業所の掲示コーナー等を活用し、地域活動の情報発信を行い、にぎわいのある景観を形成します。



沿道事業者との連携による、事業所での地域資源展示イメージ  
(神輿の例)



新たなデザインのバス停における、情報交換用  
掲示版設置イメージ

- ・駅前からの系統立てた店舗、事業所等の紹介により、屋外広告物の掲示を抑制します。



駅前のサインによる全体情報提供イメージ



地区別情報提供イメージ  
提供) 日野市商工会

#### ⑤統一フラッグを掲示します。

- ・かつて祭り時に提灯をさげたように、イベント時に一時的にフラッグ等を掲示し、にぎわいのある景観を形成します。



宮染めなど、地域の伝統工芸を活用  
したフラッグの連続掲出イメージ

## ⑥歩行空間の緑化を充実します。

- ・駐車場のフェンスを緑化するなど、うるおいのある歩行空間を形成します。
- ・歩道のみどりを地域で育みます。



駐車場フェンスの緑化イメージ



歩道空間の緑化、地域で育む緑のイメージ

## ⑦店先等で緑を育成します。

- ・店先に花を飾るなど、四季を感じさせる、うるおいある景観を形成します。



店舗前の花によるうるおいのある景観





1 見通し景観に風格を感じる景観を保全します。

① 中高層部の壁面の位置を整えます。

◆壁面位置の調和



② 中高層部の外壁は落ち着いた色彩を採用します。

◆落ち着いた色彩

◆中高層部は圧迫感を軽減する色彩を採用



③ 良好な屋外広告物景観を形成します。

◆中高層部に掲示する屋外広告物の色彩の建築物との調和



◆袖看板を地上部集合看板へ統合



大工町地区の景観づくりイメージ

2 低層部ににぎわい、親しみを感じる景観を形成します。（おもてなしの景観の形成）

① 1階部はにぎわいの街並みを形成します。

◆にぎわいを創出する機能の配置  
◆ショーウィンドウの採用  
◆店舗照明による



② 街路樹の連続性を確保します。

◆老朽アーケード機能代替  
◆街路樹充実



③ 広場状空間を創出し、活用します。

◆大通りイベント時に、サテライト会場として活用  
◆オープンカフェの運営



④ 地域活動に関する情報を積極的に発信します。

◆事業所と地域の連携による情報発信



◆沿道事業者との連携による、事業所での地域資源展示イメージ

◆系統立てた情報の提供



提供) 日野市商工会

⑤ 統一フラッグを掲示します。

◆イベント時のフラッグの掲示



●大工町の町名入り提灯竿台



⑥ 歩行空間の緑化を充実します。

◆歩道における花壇整備  
◆フェンス等の緑化



⑦ 店先等で緑を育成します。

◆四季を感じさせるうらおい創出



